

◆◇◆原稿から離れる◆◇◆

- 先週末の「終礼」で私は先生方に次のようなメッセージを伝えました。

先日、2年生の先生方から「話す力・聞く力」を高めることについて相談を受けました。みなさんとも共有したいと思います。

ポイントは「原稿から離れる(離れさせる)」ことと考えています。担任時代私は、

①原稿を書かせる。

②とにかく声に出して読ませる。宿題に出して暗記するまで練習させる。

③本番。めあてはどの学年でも「声の大きさや速さに気を付けて話そう」。

そんな学習をしていました。

いつしか、「これは本当に話す力・聞く力を高める学習になっているのか。

作文の学習、声に出して読む(音読)学習と何が違うのか…」という

疑問を持つようになっていました。

たどり着いた考えが「原稿は書く。そのあと暗記させる、ではなく

原稿から離れさせる指導、手だて」が大事だということでした。

参観日当日。保護者を前にして、「その子なりに」原稿から言葉も目も離れて、

話し言葉で2年生の思い出を伝える子どもたちの姿がありました。

原稿から離れる、離れるよう働きかけること。子どもたちも。そして私たちも。

相手と確かにつながる、通じ合うために。

国語の話す・聞く授業に限らず、心に留めておきたいと思います。



- 明後日にせまっている卒業式。

今私は、そのときに伝える「式辞」のなかみを吟味しています。

「原稿から離れる」

そう先生方に伝えた手前、私も式辞を「音読」するわけにはいきません。

原稿から離れた精一杯の言葉で子どもたちに思いを届けたいと思います。